

ぽっぽちゃんからの

研究だより



編集・発行

札幌市立もいわ幼稚園

令和5年(2023年)9月

本園では「遊びや生活を通じた学びや一人一人の幼児の育ちを家庭と一緒に考えるために」をテーマに研究を進めております。具体的には**保育参加「みんなで遊ぼう週間」の実践**と**レポート「まほうのかわ」の活用**を通して主題に迫っていきます。

今回の研究だよりでは、現在、本園で進めております具体的な研究の実践についてお話ししたいと思います。

保育参加「みんなで遊ぼう週間」の実践

<保護者と一緒に考える>

○遊ぼう週間に参加する保護者の方に、ヨーヨーの原型を見せ、どんな装飾をしたら子どもが喜ぶかアイデアを募集する。

<保護者が考えてくれたこと>

- 模様をつける
- ガムテープで色を付ける
- 中に色水を入れる など

保護者のアイデアを具体化

<参考プリント>



<実践(保護者の感想)>

- ガムテープの取り合いになるかと思っていたら、話し合いで解決をしていた姿に驚いた。クラスの雰囲気が良いと感じた。
- 子ども同士で考えを伝え合ったり、褒め合ったりする姿があった。良い空気感の中で育っている。



<実践を振り返って>

- 参考になるプリントを掲示したことで具体的なイメージをもちながら幼児と保護者が互いにどのようなヨーヨーを作るか考えながら製作する姿に繋がったと考える。
- 幼児と同じく、保護者が製作の手順を聞いたり一緒に製作をしたりしたことで、幼児が発想したことを実現する力(見立てたり真似たり)やヨーヨーを製作するために必要な力(手順の確認・材料の選択・技術面)や共有の物を使用する際のルールなど、幼児の姿を通して見取ることができたのではないかと考える。 など



<教師の話し合いの中で>

★保護者が学級の空気感を良いと感じ

たのはどういうところ?

保護者に幼児のこの時期の育ちを伝え、幼児と一緒に活動できたのが楽しかったのではないかと。また、子ども同士で解決していたということもあるのでは



子どもの成長を直接感じる事ができた

★分かりやすい環境

★保護者にとって自分の考えたことが保育に反映されること

★一緒に考えるのが大事!やり取りをしながら考えたことが大きい

★この積み重ねが信頼関係につながる

レポート「まほうのかいわ」の活用



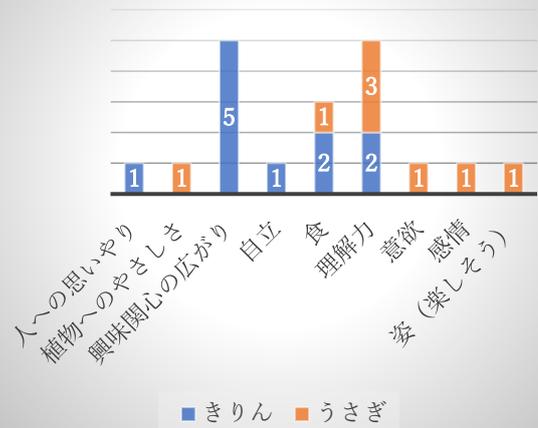
<レポートの項目を考える>

「子どもの育ちを一緒に考えるために」ということから保護者が子どもの多様な姿に気づくことができるように項目を見直します。

<アンケートを集約する>

項目ごとにアンケート結果を分類し集約します

項目2・お子さんの変化



<アンケートから分析する>



○親子栽培を通して興味関心の広がりや思いやりなど子どもの多様な姿を感じている。

○年長児の保護者は年中組の印象が強く残っていて昨年度の姿と比較している姿があった。懇談で年中時と違う姿の気づきに注目してほしいということ传达了ことはよかった。

<アンケートを活かし連携につなげる>

- 保護者の記入から素敵な部分をひろいあげる。
「大人のいいね」「子どものいいね」
- 保護者一人一人との連携のきっかけにしてい。

